

おも 思いやりありがとう

れいわ ねん ぜんこう きろく
令和7年 善行の記録

ふじえだ し せいしょうねん ほんどう
藤枝市青少年補導センター
(事務局)
ふじえだ し しょうがくしゅう か せいしょうねんがかり
藤枝市生涯学習課 青少年係
ふじえだ し ちゃまち
〒426-0023 藤枝市茶町1-5-5
☎054-643-3047

この記録は、令和7年中に「善行賞」を受賞した、善い(良い)行いをまとめたものです。

「善行賞」は、思いやりの心で誰かの力になった人、地域のために行動した人など、ほかの人の手本になるような行いをした青少年に贈られます。

※ () 内は善行当時の学年・敬称略・順不同

1 カラスに荒らされた ゴミステーションを きれいにした

受賞者 北堀 日彩・田中 凜花
梶谷 陽向・松本 虹彩
(いずれも大洲中 1年)

善行日 令和7年1月7日

内容 下校途中に、カラスに荒らされて多くのごみが散乱しているゴミステーションを見つけたため、学校に掃除用具を取りに行き、きれいにした。

2

自転車を押して、坂道を 登る手助けをした

受賞者 山田 悠斗

(藤枝中央小 5年)

善行日 令和7年2月19日

内容 下校途中に、急な坂道で自転車をひいて登っていく年配の女性を見かけたため、自転車を押して坂道を登る手助けをした。

3 踏切の遮断機に 挟まった自転車を 外す手助けをした

受賞者 池谷 ちひろ・佐貫 結愛
(高洲中 2年)

善行日 令和7年8月4日

内容 下校途中に、踏切の遮断機に自転車が挟まった高齢者を助けるために警察に通報するとともに、遮断機から自転車を外す手助けをした。

4 自転車を学校まで誘導し、 タイヤの空気を入れた

受賞者 田中 結菜 (広幡中 3年)

善行日 令和7年9月4日

内容 登校途中に自転車のタイヤの空気が抜けて困っている高齢女性を見かけたため、広幡中まで自転車をひきながら案内した。その後、学校職員の協力のもと、タイヤに空気を入れた。

5 田んぼに放置中の 壊れた自転車を 交番に届けた

受賞者 大畑 弘貴 (広幡中 1年)

善行日 令和7年9月16日

内容 学校付近の田んぼにタイヤが外れた比較的新しい自転車を見つけ、今まではなかったことや壊れていることから、自転車を担いで交番へ届けた。

6 買い物袋を持ち ながら一緒に歩いた

受賞者 仲田 琴梨 (青島北中 3年)

善行日 令和7年9月25日

内容 下校途中に、重そうなスーパーの袋を持ち交通量の多い道路を歩いていた高齢男性に声をかけ、荷物を持ちながら、安全に通行できるように一緒に歩いた。

7 スズメバチと その巣を見つけ、 市役所に連絡した

受賞者 向井 慈音
(藤枝中央小 2年)

善行日 令和7年10月6日

内容 下校途中に、年配の人や小学生が
多く通る道路に多数のスズメバチとその巣
らしきものを見つけ、帰宅後に祖母と
いっしょにハチの巣であることを確認した。
その後、近所の人を通じて市役所に
連絡し、巣の早期駆除に貢献した。

8 転んで泣いている 小学1年生のけがを 手当てし、一緒に帰った

受賞者 青野 蒼大・金高 凜之介
高橋 朔史・ウィルソン 安帆侶
(いずれも青島中 3年)

善行日 令和7年10月15日

内容 転んで泣いている小学校1年生を
見かけたため、けがを手当てした。
また、帰る方向が同じだったことから、
様子を見ながら一緒に帰った。

9 鍵の束を拾い、 持ち主を探して届けた

受賞者 鈴木 将礼・田中 謙迅・甲斐 都蒼
松浦 龍・矢部 優斗・橋爪 大知
望月 崇人・高橋 一翔
(いずれも高洲中 2年)

善行日 令和7年10月22日

内容 下校途中に、家と車の
鍵の束を拾い、近くの家に声
かけるなどして持ち主を探し、
鍵の束を渡した。

10 顔をケガして 倒れている女性の家に 助けを呼びに行った

受賞者 池野 瑛斗・小宮 千奈
増田 詩音 (西益津中 2年)

善行日 令和7年11月11日

内容 顔から出血して倒れている女性に
声をかけ、家族を呼ぶよう頼まれたため二人で
女性宅に助けを求めた。
また、残った一人は女性にハンカチを
差し出し、寄り添った。

11 車いすの人の 手助けをした

受賞者 中西 芽依奈・小川 苺花
牛山 絢香・曾根 蒼介
(いずれも藤枝小 2年)

善行日 令和7年11月13日

内容 下校途中に車いすで道路の
段差を越えられずに困っている人を見て声
をかけ、車いすの人に動かし方を教わり
ながらサポートした。

12 転んで起き上がれない 女性のために近くの人に 助けを求めた

受賞者 榊原 煌太・田平 悠伍
(青島中 1年)

善行日 令和7年11月28日

内容 道端で転んで出血している
高齢女性を見つけ、起き上がる手助けを
試みたが、痛みで動けずいたため、
近くの人に助けを求め、通りかかった
小学校教員に処置を引き継いだ。

子どもたちが元気に明るく育つことは、みんなの願いです。

藤枝市では、子どもたちが元気に育つ環境をつくるために、青少年補導員の皆さんが、夜に市内を見回り、子どもたちを家へ帰すお手伝いとして、あいさつや声かけをしています。

この「思いやりありがとう~令和7年善行の記録~」は、青少年補導員の皆さんや地域の人、学校から教えてもらった、子どもたちの善い(良い)行いを集めたものです。

その優しさや思いやり、地域への気持ち、そして行動は、とても尊いものです。

子どもたちの善い(良い)行いをたくさんの人に伝え、思いやりの輪を広げていきましょう。